本日18：30開催　未申込

乳癌領域におけるジクトルテープの使い所「ジクトルテープ Web Seminar」

視聴完了320Exp

講演概要へ

久光製薬

シリーズ◎心不全を克服せよ　連載をフォロー

リポート◎かかりつけ医による心不全診療、最適化のため専門医との連携強化を

心不全診療、専門外でも自信ありの条件とは？

2021/12/21　今滿 仁美＝日経メディカル

循環器　心不全　医療連携

印刷　シェア 18　0　ツイート

苦手意識を持つ医師が多い心不全だが、患者数が急増する現在においては、非専門医であっても診療に当たる機会は少なくない。実際、2021年12月に日経メディカルが行った心不全に関する調査では、心不全診療の経験があると回答した医師のうち約9割が非循環器内科医だった（関連記事：「薬剤開始前にHFpEF／HFrEFを意識」循環器内科医では7割超だが……）。心不全診療における医療連携の重要性は以前から指摘されているが、非循環器内科医からは「専門医に紹介するタイミングが悩ましい」といった声が散見された。かかりつけ医はどのようなタイミングで専門医へ紹介するのがよいのだろうか？

早期の心エコー検査を勧める、横山内科循環器科医院の横山広行氏

「心不全を疑ったら、心エコーによる評価を早めに行うべき」と指摘するのは横山内科循環器科医院［埼玉県東松山市］院長の横山広行氏だ。心不全診療のガイドラインに準拠した治療を行うため、そして特異的な治療介入が必要となる場合が多い心筋症や弁膜症、心房細動などの基礎疾患を見つけ出すためにも、心エコーは重要になるという。

現行の「急性・慢性心不全診療のガイドライン」は、左室駆出率（EF）によって心不全を3つに分類してアルゴリズムを提示しているため、ガイドラインに準拠した治療を行うためにはEFの評価が必須となる。近年、特にEFの低下した心不全（HFrEF）に対しては、アンジオテンシン受容体ネプリライシン阻害薬（ARNI）、β遮断薬、ミネラルコルチコイド受容体拮抗薬（MRA）、SGLT2阻害薬の4剤は「the 表現され、これらの併用による予後改善効果が示されている。

一方、EFの保たれた心不全（**HFpEF**）には標準的な治療薬はなく 尿薬と併存症に対する治療が基本となる。HFpEF患者は高頻度で高血

来春からの非常勤を探すなら今がオススメ！

春に向けて新たな非常勤求人が増えてくる時期です。好条件の求人は早めに掲載終了することも！求人探しはお早めに

日経メディカルキャリア

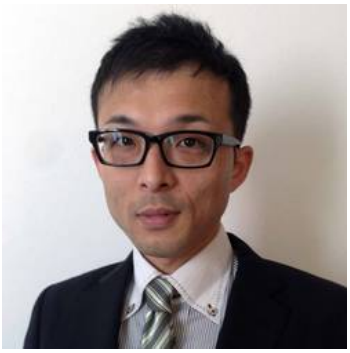
拮抗薬が使用されることが多いが、HFrEFでは心保護作用が明らかではないカルシウム拮抗薬は推奨されていないことに注意が必要だ（狭心症、高血圧を合併する場合を除く）。このように、「EFにより薬剤選択やそのエビデンスが異なるため、心エコーによるEFの評価は必ず行いたい」と横山氏は強調する。

前述した心不全に関する調査で、心不全薬物治療においてEFによる心不全分類を意識するタイミングを聞いたところ、「薬物治療開始前」と回答したのは、循環器内科医では75.5％だったのに対し、非循環器内科医では47.9％に減少していた。非循環器内科医では「2剤目の追加を考慮するとき」と回答した医師が25.3％と少なくなかった。専門医と非専門医の間でこのような差が生じた要因として、心エコーへのアクセスに差があることは想像に難くないが、「治療方針に悩むことが多い非専門医こそ、治療開始前に専門医に紹介して心機能を評価してもらうとよいだろう」と横山氏は言う。ただし、「初診の段階で呼吸困難や浮腫などの症状がある場合は、利尿薬を使用するのが先になる」と付け加える。

とはいえ、高齢患者が多い心不全では、患者と介護者の負担などを考えると全例を初めから大規模病院へ紹介することは現実的ではない。そのため横山氏は「心不全を診ているかかりつけ医は、近隣の循環器を専門とする開業医と連携するのが理想的だろう」とアドバイスする。

逆紹介後に処方薬を見直してもいい？

大規模病院から逆紹介された慢性心不全患者もまた、循環器を専門としないかかりつけ医を悩ませる――。



心不全診療における専門医とかかりつけ医による連携の実態について報告した、鳥取大の衣笠良治氏

国内の心不全診療では病院の循環器内科医とかかりつけ医（専門医、非専門医いずれも含む）の連携に課題があるため、最適な治療を提供できていない可能性が指摘されている。これは、国内の心不全診療の実態を調査した研究（Kinugasa Y, et al. 2021;85:1565-74.）によるもの。同研究について報告した鳥取大学医学部循環器・内分泌代謝内科学分野講師の衣笠良治氏は「非専門医はEFに対する重要度の認識、HFrEFへのβ遮断薬の処方率、併存疾患管理の達成度が低く、専門医と比較すると治療介入の質が落ちてしまう。一方で病院の専門医は、病態悪化時の対応やコンサルトする基準に関する情報などかかりつけ医が求める情報を提供できていないといった現状が明らかになった」と結果を振り返る。

衣笠氏によると、このように病院の専門医とかかりつけ医の双方に課題があることで、最適な治療ができなくなる例として、HFrEFの治療のために処方していたβ遮断薬をかかりつけ医は降圧薬だと捉え、血圧がコントロールできた際に中止してしまうといったケースがあるとのこと。「非専門医は他の様々な疾患を診る必要があるため、心不全診療の知識が不足することは避けられない。そのため、専門医は知識のギャップを考慮して、非専門医に治療方針を明確に伝える必要がある」と衣笠氏は指摘する。

また、双方が提供する医療に差が生じる背景について、「病院の専門医は心不全による入院や死亡を予防するための医療介入を優先しているのに対し、かか
護者の日常生活のサポートを優先していることが同研究で示されてい
する。「専門医は治療を優先するため患者とその家族の生活や介護ま
い可能性がある。一方、患者とその家族に密接にかかわるかかりつけ
先して考慮するため治療介入が不足する可能性がある」と衣笠氏。専

来春からの非常勤を探すなら今がオススメ！
春に向けて新たな非常勤求人が増えてくる時期です。好条件の求人は早めに掲載終了することも！求人探しはお早めに
日経メディカルキャリア

ら介人の優先事項も異なるということのようだ。

衣笠氏は「専門医が提供する医療とかかりつけ医が提供する医療は、どちらも不可欠。このように考え方に差があることを認識し、双方の得意な点を生かしてより強固な連携が実現できるとよい」と心不全診療における医療連携の重要性を強調した。

なお、専門医からの逆紹介時の処方内容に関しては、「HFrEFの場合は基本薬の併用による予後改善効果が示されているので、RAS阻害薬、β遮断薬、MRA、SGLT2阻害薬などは中止しないでほしい」と横山氏は要望する。一方HFpEFでは、HFrEFのようなエビデンスはないため薬剤を減らすことを考慮する必要がある。そのためには各薬剤が何の目的で処方されているかを専門医との連携で確認したい。「例えば、β遮断薬は高血圧の他にも、虚血性心疾患や心房細動に対して使用される場合がある。そのようなケースでは、血圧低下やふらつきなど大きなデメリットがない限り継続するのが無難」（横山氏）だからだ。

一方利尿薬においては、脱水症予防の観点も無視できない。横山氏は「HFrEFとHFpEFどちらにおいても、夏場に脱水傾向がありBNPもさほど高くない状態では一度中止し、涼しくなって汗をかきにくくなったら再開といった調整は必要かもしれない」と言う。非専門医は、専門医と処方意図を確実に共有した上で、個々の患者の状態に合わせて薬剤調整を実施したい。

1

シェア 18 0 ツイート

連載の紹介

シリーズ◎心不全を克服せよ

心不全患者が急増する「心不全パンデミック」の到来に危機感が強まる中、新薬や最新技術の登場により心不全治療は大きく変わりつつある。令和時代の心不全治療、その最先端を追う。

⊕ 連載をフォロー

この連載のバックナンバー

HFpEF＋αで薬剤選択を

2021/12/23

そのHFpEF、二次性の精査が必要かも？

2021/12/22

心不全診療、専門外でも自信ありの条件とは？

2021/12/21

新機序の抗心不全薬ベルイシグアトが発売

2021/09/29

来春からの非常勤を探すなら今がオススメ！
春に向けて新たな非常勤求人が増えてくる時期です。好条件の求人は早めに掲載終了することも！求人探しはお早めに
日経メディカルキャリア

SGLT2阻害薬がHFpEFの心血管リスクを2割抑制

2021/08/31

もっと見る

この記事を読んでいる人におすすめ

NEW　未閲覧

TEXT

ARISTOTLE試験10周年 解析結果を振り返る～年齢、体重、腎機能、投与量および日本人サブグループ解析の結果は？

閲覧完了320Exp

ブリストル・マイヤーズ スクイブ/ファイザー

シリーズ◎心不全を克服せよ

基本治療薬で効果不十分な心不全、次の一手は

2021/04/08

シリーズ◎心不全を克服せよ

かかりつけ医に急性心不全患者が来院したら？

2020/03/10

人気コンテンツ　未視聴

VIDEO

糖尿病患者さん一人ひとりの病態や生活に合わせた治療選択肢とは？～専門医にきく、オゼンピック導入に期待すること

視聴完了320Exp

ノボ ノルディスク ファーマ

成人1型糖尿病におけるフィアスプ注のエビデンスを動画で解説！

【来年度の転職シーズンど真ん中】『年収2000万円超』など掲載求人25,000件以

「無料」「オンライン」など直近でご参加いただけるおすすめの医療系セミナー

『考える技術 第4版』患者の臨床像から診断へのプロセスを解く診断推論の決定

eディテール

NEW　未閲覧

TEXT

ARISTOTLE試験10周年 解析結果を振り返る～年齢、体重、腎機能、投与量および日本人サブグループ解析の結果は？

閲覧完了320Exp

ブリストル・マイヤーズ スクイブ/ファイザー

人気コンテンツ　未視聴

VIDEO

糖尿病患者さん一人ひとりの病態や生活に合わせた治療選択肢とは？～専門医にきく、オゼンピック導入に期待すること

視聴完了320Exp

ノボ ノルディスク ファーマ

一覧を見る

Web講演会

本日18：30開催　未申込

来春からの非常勤を探すなら今がオススメ！

春に向けて新たな非常勤求人が増えてくる時期です。好条件の求人は早めに掲載終了することも！求人探しはお早めに

日経メディカルキャリア

Seminar」

視聴完了320Exp

久光製薬

未申込

12月27日（月）19：00～（タイムシフト視聴あり）

Rare Disease Medical Web Forum 2021「難病・希少疾患における科学と医療の進歩、現状と課題を含めて」

視聴完了320Exp

アレクシオンファーマ

一覧を見る

調査

未回答

調査

一番よく使う 抗不安薬はどれですか？「NMO処方サーベイ」にご協力ください

10pt進呈

未回答

調査

HPVワクチンの積極的勧奨に関するアンケートにご協力ください。

10pt進呈

未回答

調査

新生児科の先生へ『感染症に関する調査』にご協力ください

1,000pt進呈

一覧を見る

医師 人気記事ランキング

昨日　週間　月間

1 院長を悩ます職員トラブル大研究

職員の学歴詐称が発覚、院長が取った対応とは

2 リポート◎多科の連携強化で難病を拾い上げ――筑波大の難病診療体制

そのHFpEF、二次性の精査が必要かも？

3 宮崎仁の「血液内科ミステリー」

来春からの非常勤を探すなら今がオススメ！

春に向けて新たな非常勤求人が増えてくる時期です。好条件の求人は早めに掲載終了することも！求人探しはお早めに

日経メディカルキャリア

4 はりきり院長夫人の“七転び八起き”
「悪質な口コミ消します」の営業を受けて考えたこと

5 リポート◎かかりつけ医による心不全診療、最適化のため専門医との連携強化を
心不全診療、専門外でも自信ありの条件とは？

> 一覧を見る

総合記事ランキングを見る

日経メディカルキャリア

ご登録診療科目の求人をPick Up

常勤
埼玉県羽生市　年収：1200万～2000万
【埼玉県羽生市】◆２０００万円まで検討可能◆住宅・赴任手当アリ、面接交通費アリ　◆病院が新築し、…
一般病院　1800万以上

常勤
埼玉県深谷市　年収：1500万～2000万
【深谷市・内科／住宅借上】時間外のオンコールはなくしっかりとリフレッシュできます！
ケアミックス　1800万以上

非常勤　NEW!
埼玉県羽生市　給与：100000円／一回
【羽生市×内科】★H30年に新築移転した、明るくキレイな病院です★
一般病院　日勤

非常勤
東京都台東区　給与：75000円／一回
【訪問診療／東京都】未経験歓迎！/若手医師が活躍/居宅中心の訪問になります/9：00～18：00勤…

スカウトメール ？　未設定

最初の１歩はおまかせ問い合わせから
医師転職支援会社・最大４社から
先生の希望にあった求人をご提案！

来春からの非常勤を探すなら今がオススメ！
春に向けて新たな非常勤求人が増えてくる時期です。好条件の求人は早めに掲載終了することも！求人探しはお早めに
日経メディカルキャリア

的な視点で開業適地を選

【開業セミナー】≪電子カ
プレかクラウドか？選択の

医療施設のBCP対策～地震
て感染症への備え～

【開業セミナー】≪医院経
れる医院」をどのように実

“最強”クリニックの集患・
した動画DVD付き！院長

日経メディカルをフォローする

ページトップ

総合TOP
医師TOP
若手医師・医学生TOP
看護師TOP
薬剤師TOP

サービス一覧
書籍・セミナー
論文支援
英文校正
翻訳
学会ポスター
1日1問医師国家試験
1日1問薬剤師国家試験

MReach
オンデマンド
Web講演会
CMEオンデマンド
CME Live
調査
マイページ

日経メディカル
コンテンツにつ
よくある質問
ポイント/Expl
お問い合わせ
利用規約
個人情報の共同
アクセス履歴の

日経メディカル
をフォローする

関連サイト
日経メディカルキャリア　日経メディカル開業サポート　日経メディカル経営サポート　日経メディカル病院経営
日経DIキャリア　日経メディカルプロキャリア　日経メディカル Aナーシングキャリア　日経BP SHOP
日経メディカルワークス　日経バイオテクオンライン　日経BPのメディア一覧

会社案内 | 個人情報について | データ利用 | 著作権について | 広告ガイド

表示切替：スマホ版で見る

© 2006-2021 Nikkei Business Publications, Inc. All Rights Reserved.

来春からの非常勤を探すなら今がオススメ！
春に向けて新たな非常勤求人が増えてくる時期です。好条件の求人は早めに掲載終了することも！求人探しはお早めに
日経メディカルキャリア